

2022年8月26日

各 位

オリックス不動産株式会社

100%再エネ由来の電力で賄うマルチテナント型物流施設 「京田辺ロジスティクスセンター」着工 ～京奈和自動車道「田辺西インターチェンジ (IC)」至近～

オリックス不動産株式会社（本社：東京都港区、社長：深谷 敏成）は、京都府京田辺市において、マルチテナント型の物流施設「京田辺ロジスティクスセンター」の開発に着手しましたのでお知らせします。



「京田辺ロジスティクスセンター」外観イメージ

本物件は、京奈和自動車道「田辺西インターチェンジ (IC)」から約 0.6km、第二京阪道路「枚方東インターチェンジ (IC)」から約 3.9km に位置し、周辺に工場が立ち並ぶ田辺西工業団地区 (B 地区) に位置します。京都・大阪エリアなどを含む、関西エリアへの広域配送が可能です。2027 年度には、新名神高速道路の全線開通が予定されており、東日本と西日本の結末点としてさらなる交通利便性の向上が期待できます。

建物は、延べ床面積約 6,054.66 坪 (20,015.41 m²)、地上 3 階建てのマルチテナント仕様です。最小区画は約 2,955 坪から、最大 2 テナントまでご入居いただけます。1 階には最大 19 台 (10t 車、一部 4t 車) が同時接車できるバース※を備えます。また、梁下有効高約 5.5 メートルを確保し、荷物用エレベーターを 2 基・垂直搬送機を 2 基実装し、効率的な保管・運用が可能です。

屋上には太陽光発電設備を設置するほか、天候の影響や夜間など発電量が不足する場合にもオリックス株式会社より非化石証書付き (トラッキング付き) の電力が供給されるため、入居テナントは、100%再生可能エネルギー由来の電力を利用いただけます。

オリックスグループは、東名阪を中心に 44 物件の物流施設の投資開発実績を有します。今後も、進化するサプライチェーン戦略や、環境に配慮した物流施設の開発を目指してまいります。

※トラックと施設の間で荷物の積み降ろしをするためにトラックを接車するスペース

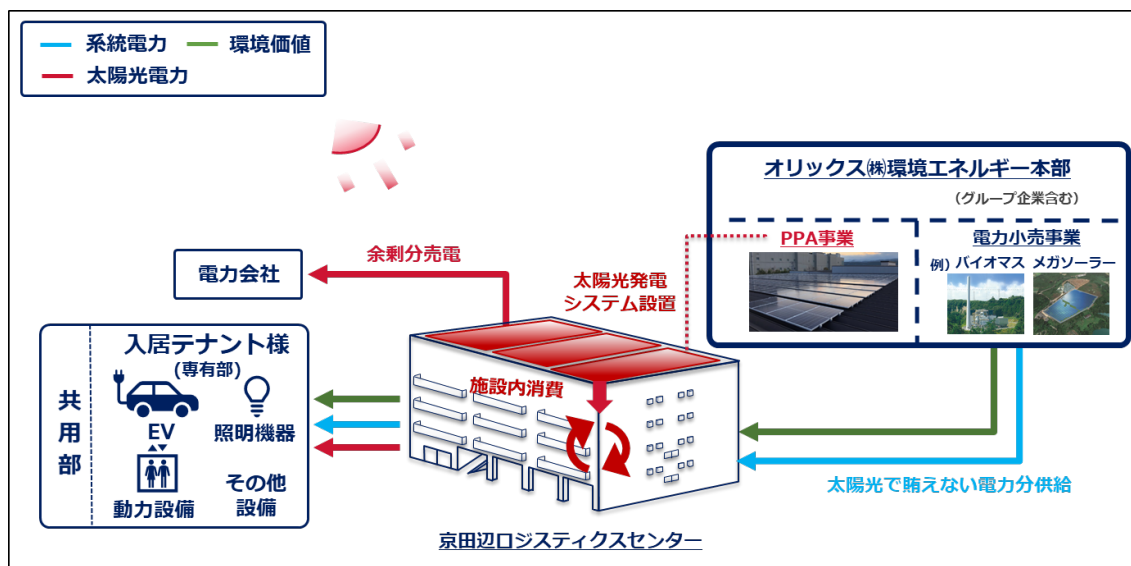
以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

オリックス株式会社 グループ広報・渉外部 田村・角谷 TEL : 03-3435-3167

■100%再生可能エネルギー由来の電力を供給するなど環境に配慮した物流施設

オリックス不動産株式会社は、環境に配慮した物流施設の開発に取り組んでいます。開発済みの「松伏ロジスティクスセンター」（埼玉県北葛飾郡）をはじめ、今後開発する物流施設では、100%再生可能エネルギー由来の電力を施設全体に供給してまいります。施設の屋根に太陽光発電設備を設置し、天候の影響や夜間など、太陽光発電だけでは賅えない場合でも、オリックス株式会社より非化石証書付き（トラッキング付き）の電力が供給されるため、入居テナントは施設内で使用する電力を100%再生可能エネルギー由来の電力で賅えます。また、敷地内には電気自動車（EV）充電スタンドも設置しています。



■「京田辺ロジスティクスセンター」施設概要

名称：京田辺ロジスティクスセンター
 所在地：京都府京田辺市甘南備台2丁目14番8号（田辺西工業団地区内）
 交通手段：京奈和自動車「田辺西IC」から約0.6km
 第二京阪道路「枚方東IC」から約3.9km
 JR学研都市線「京田辺駅」から約2.9km
 敷地面積：12,479.90 m²（約3,775.16坪）
 延床面積：20,015.41 m²（約6,054.66坪）
 規模・構造：地上3階建て、S造
 駐車場台数：普通車44台、大型トラック待機場10台
 その他：トラックバース19台（17台：10t車、2台：4t車）、
 床荷重1.5t/m²、梁下有効高：5.5m以上
 全館LED完備、非常用発電機完備、太陽光発電設備実装、
 電気自動車（EV）充電スタンド2台設置

設計：西松建設株式会社
 施工：西松建設株式会社
 着工：2022年8月1日
 竣工：2023年9月末（予定）

【位置図】

